

【静岡県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	静岡県立下田 高等学校	夜間定時制
原則、月1回の「基礎力定着テスト」を実施。合格点に達しない生徒には再テストを行い、それでも合格しない場合は、個別指導を実施して基礎学力を身に付ける指導を行う。		
2	静岡県立伊東 高等学校	夜間定時制
国語・外国語・数学・理科の必修科目等について、標準単位数以上の単位を配当履修することで、丁寧な指導を心がけている。		
3	静岡県立小山 高等学校	夜間定時制
各教室に吊り下げ式のプロジェクターを設置し、それを活用した分かりやすく生徒の興味を引く授業の行えるよう、定期的に研修を行っている。		
4	静岡県立沼津工業 高等学校	夜間定時制
最初に、不登校や中退経験のある生徒に対して時間をかけて面接し、学習面・生活面に関する情報収集を行う。それを全職員で共有し、各生徒への指導内容や方法を検討して、個別の学習指導計画を作成する。放課後や始業前に、1対1の学習支援を行っている。		
5	静岡県立清水東 高等学校	夜間定時制
生徒一人一人に対して何ができて何ができないかを教職員が「連絡シート」に記入する。それを情報共有することで、生徒に対して適切な支援ができています。		
6	静岡県立静岡 高等学校	夜間定時制
中学の内容の学び直しの機会として、学校設定教科「印高」科目「印高基礎」を1年次に開講し、少人数で生徒の能力に合わせた集団で、きめ細かく指導を行っている。		
7	静岡県立静岡中央 高等学校	通信制
NHK高校講座が設定されていない科目について、オンライン学習講座上に「インターネット講座」を開講し、学習支援の場としている。(学習成果報告でスクーリング時数に認定)また、3キャンパスにおいて「学習支援日」を設定し、希望する生徒に個別の学習支援を行っている。キャンパスによっては、週1日希望生徒を集め、個別の学習支援を中心に集団活動等も取り入れ、併行して行っている通級による指導の補完的な役割も果たしている。		
8	静岡県立磐田南 高等学校	夜間定時制
週に2度、午後4時から1時間程度、1年生を対象に数学と英語の支援授業を実施。自校で作成した学力定着テストの結果を参考に、一部の生徒には指名制で参加させている。		
9	静岡市立 高等学校	夜間定時制
1年次に学校設定科目として、「ベーシック数学」を開講している。		

☆静岡県では、国庫1/3の補助を受け、「定時制生徒支援事業」を実施している。学習支援員が教員とティーム・ティーチングを行ったり、始業前の補習事業を行ったりしている。

☆漢字テストの実施や、国語の授業内での漢字書き取りの学習等を実施している。(清水東高校・島田商業高校等)

☆習熟度別の小集団編成による授業を行っている。(静岡中央高校(定)・浜松大平台高校等)

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	静岡県立伊東 高等学校	夜間定時制
<p>無脾症候群の生徒に対し、授業中の給水や授業における暖房機器の利用など配慮し、インフルエンザの罹患に関しても細心の注意を払っている。また、肋骨の一部を欠損している生徒がおり、体育での身体の接触を回避するための見学など、他の生徒の理解を得ながら支援している。</p>		
2	静岡県立三島長陵 高等学校	三部単位制
<p>車椅子の生徒のためのエレベーター利用と教室での座席位置の配慮を行っている。また、車椅子利用生徒や怪我をした生徒のために、災害時に階段をスムーズに下りることができる運搬器具を購入した。</p>		
3	静岡県立小山 高等学校	夜間定時制
<p>月に1回学校医に来校していただき、気になる生徒は健康相談を行っている。その結果を養護教諭が聞き、職員全体に情報共有している。</p>		
4	静岡県立科学技術 高等学校	夜間定時制
<p>静岡市発達障害者支援センターの方に授業観察と支援計画作成に助言をいただいた。また特別支援学校のコーディネーターに、ケース会議の学習会をお願いした。職員は、ICT（プロジェクター・パソコン・タブレット等）を用いた授業を積極的に取り入れている。</p>		
5	静岡県立静岡中央 高等学校	三部単位制
<p>車椅子対応の大型で低い机を用意した。またその生徒の受講する科目の授業教室を、エレベーターに近い教室に変更した。</p>		
6	静岡県立静岡中央 高等学校	通信制
<p>3キャンパスともに「高等学校における通級による指導」を平成30年度から開始し、個々の生徒が学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服できるよう取り組んでいる。実施にあたっては、静岡大学や県総合教育センター等の関係諸機関の専門家の指導を仰いでいる。また、東西キャンパスにはSCが配置され、教職員とともに生徒を支援する体制が敷かれている。</p>		

☆SSW が県立高校3校（三島長陵高校・静岡中央高校・浜松大平台高校）に配置され、生徒及び教員の支援にあたっている。他に、静岡市立高校には、静岡市で配置しているSCが週2回、SSWが週1回来校して支援にあたっている。

☆静岡県では、全県の高等学校と特別支援学校を、連携グループとして組織し、特別な支援を必要とする生徒の支援について連携を図っている。

☆講師を招聘して、ソーシャルスキルトレーニングを実施している学校がある。（富士宮東高校、静岡高校など）

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	静岡県立沼津工業 高等学校	夜間定時制
<p>ルビ付教科書を作成し生徒に渡し、定期考査もルビ付で行っている。基礎学力養成のため、外国籍生徒の中で学力の高い生徒を先生役にして、放課後学習会を実施している。地域の国際交流協会との連携事業で、日本語講座を開講している。</p>		
2	静岡県立富士 高等学校	夜間定時制
<p>プリント・テストにルビをつけて対応する一方、補習等を行うときは、学習量を減らし、ポイントを絞って指導している。</p>		

3	静岡県立清水東 高等学校	夜間定時制
国語科教員が、1対1で交換日記を行い、言葉遣いや文法の確認をしている。		
4	静岡県立磐田南 高等学校	夜間定時制
教育課程を見直し、国語の単位数を増加し、合計14単位にした。国語の授業の中で、日本語指導、基礎学力の養成を図っている。		
5	静岡県立浜松大平台 高等学校	三部単位制
学校設定科目「日本語」を開講し、入学時の日本語（国語）基礎力チェックテストで日本語指導が必要とされた生徒に受講させている。また、日本語の補習講座を、週2回行っている。		

☆静岡県では、国庫1/3の補助を受け、「外国人生徒支援事業」を実施している。支援員が日本語指導を授業でのティーム・ティーチングや始業前の補習で行ったり、保護者との連絡の際の通訳、教科書やプリント、テストへのルビ振り等に従事してもらったりしている。

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制/夜間定時制/通信制)
1	静岡県立小山 高等学校	夜間定時制
4月に家庭児童相談室の相談員の方と情報交換を行い、家庭の経済状況が複雑で校納金等の支払いが難しいときは、社会福祉課と連携をとっている。		
2	静岡県立沼津工業 高等学校	夜間定時制
家庭の経済状況等の困難さから就学に困難を抱える生徒に対して、トリプルシステムを利用して就職活動を勧めている。(高校に在籍しながら協力企業でインターンシップ等を実施し、現場で求められる専門的な技術を県立沼津技術専門学校で修得する。)ハローワークと連携し、アルバイトや正社員雇用の支援指導をしている。		
3	静岡県立科学技術 高等学校	夜間定時制
各種支援金や奨学金の制度の説明を行っている。定通修学資金4人、日本教育公務員弘済会2人、石澤奨学会1人、天野技術研究所奨学生1人がそれぞれ支援を得ている。学期に1回就業調査を行い、雇用契約について明らかにするよう、雇用主に文書でお願いをし、学校側でも雇用条件を確認している。		

☆SSW が県立高校3校（三島長陵高校・静岡中央高校・浜松大平台高校）に配置され、生徒及び教員の支援にあたっている。

☆事務室定時制担当と連携して、校納金分割の提案をしている。(浜名高校)

☆ハローワークとの連携によるアルバイトや就職の斡旋は、多くの高校で行われている。

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制/夜間定時制/通信制)
1	静岡県立小山 高等学校	夜間定時制
スクールサポーターが定期的に来校し、お互いの情報交換を行っている。		
2	静岡県立静岡中央 高等学校	三部単位制
入学後に、入学前の非行歴が判明した生徒に対して、SSW が面談をして再発防止に努める。		
3	静岡県立静岡中央 高等学校	通信制
毎月1回、管理職。クラス担任、保護司、当該生徒の4人が一堂に会し、学習状況や生活状況等について情報を共有するとともに、指導・助言を行っている。		

☆入学時に、全ての出身中学校への訪問を、1年担任及び教頭で実施し、情報共有する。

上記以外に

◎定時制生徒のための居場所づくりの試みとして、「居場所カフェ」を2校で行っている。

①静岡県立静岡中央高等学校……三部単位制（定時制）の課程で午後の時間帯で行っている。

「きやりこみゅカフェ」と命名。静岡市のパイロット事業として、今年度2年目。NPO法人とボランティア（大学生等）の協力を得て、生徒との人間関係の構築、悩みなどをSSWなどにつなぐこと、最終的には就労支援に結び付けることを目指している。

②静岡県立新居高等学校……夜間定時制の課程で、週1回、放課後30分ほど実施。「よりみちカフェ」と命名。飲料を提供し、くつろいだ雰囲気の中で生徒が気軽に相談できる体制を構築する。若者支援の専門家や大学生ボランティアがスタッフとなり、課題の発見、悩みの解消を行い、進路未決定や中途退学を緩やかに防止することを目指す。

【愛知県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	愛知県立旭陵高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目：英語入門、数学入門を開講して、振り返り学習を行っている。 ・数学については、学校のWebページ上にフローチャートを掲載し、理解できないところについては5分程度のワンポイント動画を多数用意して、学習支援を行っている。 ・生徒からの質問の受付について、Line@を利用できるようにした。 		
2	愛知県立犬山高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・1年生において、中学校へあまり行っていなかった生徒を基準に、1学期当初は各教科において、勉強に少しでも興味をもてるよう簡単な内容から始めている。 		
3	愛知県立小牧高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・1年生をスモールホームルームとし、細やかな対応を可能としている。授業の進度も中学校1年生の復習から始め、英語ではアルファベットから開始する。希望者には授業の前後に個別の指導も行っている。 		
4	愛知県立豊橋工業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校時代不登校であった生徒に対して早出登校を促し、定期考査前を中心に基礎学力を高める学習支援を行っている。入学当初は「知的障がい？」と思われた生徒が、ゆっくりと教えていくことで理解が進み、全く問題ないと判断できる生徒になった。 		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	愛知県立瑞陵高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・脳性マヒの生徒について、フロアを超えて移動することが困難であるため、テレビ会議型の授業を展開している。 		
2	愛知県立城北つばさ高等学校	昼間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・車イス生徒のために階段昇降機を設置している。 		
3	愛知県立刈谷東高等学校	昼間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘッドギアを付けているてんかん気質の生徒のために、階段の上り下り介助担当に職員を割り当てて、計画的に実施している。 ・車イス生徒のために各階に車イスを用意しようと各方面に呼びかけ、3台入手。同様に車イス用の机も呼びかけたら多数入手することができた。 		
4	愛知県立一宮高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・知的支援を必要とする生徒に対して、市役所就業支援課と連携しながら、キャリア教育を含めた進路指導を行い就職することができた。 		
5	愛知県立犬山高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚過敏の生徒に対し、授業中もヘッドフォンの装着を認めたことがある。また、知的障害や発達障害と思われる生徒等の保護者に対し、できるだけ学校での様子や連絡事項をこまめに行うようにしている。 		
6	愛知県立刈谷東高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害の生徒について、記憶に関して不安があるため、教室へのICレコーダーとノートパソコンの持ち込みを許可している。 		
7	愛知県立小牧高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・難病指定の生徒の体育の授業について、無理をさせないように別メニューを常に用意している。 		

8	愛知県立豊橋工業高等学校	夜間定時制	・ASDと思われる生徒（診断は受けていない）が頻繁に友人とトラブルを起こす。円滑な人間関係が築けないため、定時的にSCと面談を行い、早出登校をさせ、複数の教員が交代で世間話をして会話のキャッチボールができるように指導している。中学校までほとんど指導をしてもらえず人間不信的な様子もうかがえるため、指導していくことで「人の気持ち」を理解できるようにと考えている。
9	愛知県立岡崎高等学校	夜間定時制	・LGBTの生徒（Transgender）に対して、本校には多目的トイレが設置されていないため、女性教員付き添いの下、職員用トイレの使用を実施している。
10	愛知県立旭陵高等学校	通信制	・通常の体育講座への参加が困難な生徒（心身の課題、妊婦など）に対して、特別班を設定し、ストレッチ、軽スポーツ、ゲートボールなど、負担のかからない内容を工夫している。

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

県の定時制高校で、外国語支援員が関わっている学校は24校ある。その係わり方は多様で、その内訳は、授業中（7校）、取り出し（3校）、学習会（14校）、保護者対応（19校）である。

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)	
1	愛知県立刈谷東高等学校	昼間定時制	・愛知教育大学と連携し、単位になる実習として学生がサポートに入っている。(刈谷市内の小中高校には入っている。自動車関連工場が多く外国籍生徒が多いため。)
2	愛知県立安城高等学校	夜間定時制	・国際交流協会の紹介を介して、民間の日本語教室を生徒に紹介し、そこへ通うことを勧めている。(費用は1回100円、5名程度参加)
3	豊橋市立豊橋高等学校	昼間定時制	・NPO法人が学校内で、日本語講座を開講している。
4	愛知県立大府高等学校	夜間定時制	・図書館担当職員が、毎日、授業後に図書館で勉強会を実施している。 ・教科書や参考資料等の本文にふりがなを付けるなどサポートしている。
5	愛知県立一色高等学校	夜間定時制	・1, 2年生には、全員、配布物や板書にルビを振り、定期考査もルビ付で実施している。 ・総合的な学習の時間には1・2年生合同で取り出し授業を行い、「地震になったらどうする？」などのテーマで話し合いをしたり、日本語の学習を他の国の言語も交えながら対話的に進めたりして、日本での生活に役立つような工夫を心がけている。 ・多読本を貸し出して、内容の要約をさせている。
6	愛知県立明和高等学校	夜間定時制	・日本語教師の資格を持つ教員が言語習得理論に基づいて取り出し授業の指導（初期適応指導）をしている。
7	愛知県立小牧高等学校	夜間定時制	・合格者オリエンテーションでは、ポルトガル語、英語のものを用意し、ルビは通常の授業で使用するプリント類に限らず、日常的に配布物等につけている。 ・希望者に対して定期考査の前などに、授業の前後の時間を活用して外国人支援員による個別指導を行っている。 ・日本語の活字に慣れるため、授業後の図書館を教員の監督の下に開放している。

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	愛知県立起工業高等学校	昼間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> ・3人の子どもを持つ母子家庭（上の子と下の子が不登校、真ん中の子が在籍）に対して、SSWを通して、市役所と連携、福祉部生活福祉課とともに支払い計画を策定し、サポートしている。 	
2	愛知県立犬山高等学校	夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> ・就学支援金や奨学給付金等の活用に対し、何度も個々に案内や呼びかけをし、記入方法等きめ細かな指導を行っている。 	
3	愛知県立小牧高等学校	夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> ・事務の担当職員から随時（月2回程度）授業料納入者一覧が担任に報告される。 	
4	愛知県立豊橋工業高等学校	夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> ・就学支援金申請の事務手続きができない保護者に代わり、生徒を連れて市役所へ課税証明書を取りに行った担任がいる。 	
5	愛知県立豊橋工業高等学校	夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> ・就学支援金、就学給付金の申請手続きが円滑に進まない、外国人保護者が理解できない、必要書類を用意できない、日本人保護者も必要書類を用意できず申請が滞るといった状況の中で懇切丁寧に対応している。 	

【三重県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	伊勢まなび高等学校	昼間定時制／夜間定時制
<p>学校設定科目：レベルアップ基礎学力、漢字学習、国語常識、ベーシック社会、ベーシック数学、ベーシック理科、生活教養、社会で役立つ基礎知識を開講して、学び直しや基礎学力の定着を図っている。</p>		
2	桑名高等学校	夜間定時制
<p>中学校・在籍校での情報の引き継ぎに努め、保護者と密に情報交換を行うとともに、SCへの情報共有と引き継ぎについても密に取り合っている。学習については、学び直しを含め、自己肯定感を育てられるよう少人数講座で行っている。</p>		
3	松阪高等学校	通信制
<p>・家庭に居ながらパソコンやスマートフォンを利用して学習が進められるよう、WEB上に学習支援のための教材を充実させている。 ・前籍校からの学習をスムーズに継続できるよう、個別に科目登録指導を行っている。 ・転入生および編入生に対し入学時個別面談を行い、担任との関係の緊密化を図っている。</p>		
4	尾鷲高等学校	夜間定時制
<p>生徒の多くが不登校か中途退学を経験しており、両方に該当する生徒も多い。基礎学力が身につけていない生徒、学習意欲が乏しい生徒、学力・意欲とも高い生徒など、生徒の実態は多様であるが、どの講座も少人数であることを生かし、授業中の個別指導の時間を増やしたりして対応している。</p>		
5	飯野高等学校	夜間（二部制）定時制
<p>学校設定科目として「ステップ国語」、「ステップ歴史」、「ステップ公民」、「ステップ数学」、「ステップ英語」を各1単位設定し（選択にて1単位以上）、中学時の学び直しを中心とした授業を行っている。</p>		
6	北星高等学校	昼間定時制／夜間定時制
<p>・ステップ科目（国語・数学・英語・理科・地歴）を設定し、中学校レベルの内容から学び直しを行っている。英語は1年次生が必ず履修し、その他は選択 ・不登校生徒、集団に入りづらい生徒は、通信制を活用した個別支援授業を実施し、単位修得を支援している。</p>		
7	北星高等学校	通信制
<p>基礎学力の定着、学び直しのために学校設定科目「基礎計算」「英語ステップ」を開講している。</p>		
8	名張高等学校	夜間定時制
<p>学び直しのため、TTや少人数講座を展開している。始業前の補習授業を行い、小学校高学年程度～理解度に応じてプリント学習を実施している。</p>		
9	上野高等学校	夜間定時制
<p>・1年生の数学では、教諭と非常勤講師によるT・Tを行い、学習が遅れがちな生徒に対して、サポートしている。 ・1年生で学校設定科目「ライフスキル」「言語活動」を開講し、SSTや中学校から高校へつなぐ基礎学習を行っている。</p>		
10	みえ夢学園高等学校	昼間定時制／夜間定時制
<p>学校設定科目において、基礎学力補充を行っている。</p>		

11	木本高等学校	夜間定時制
<p>学力、家庭状況、進路希望、特別な支援が必要等、多様な生徒が在籍しているので、担任面談を頻繁におこなったり、家庭との連携を密にしている。担任以外の教員も、生徒一人ひとりの状況把握に注力し、担任と連携して指導している。</p>		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	伊勢まなび高等学校	昼間定時制／夜間定時制
<p>基礎学力の定着を図る学校設定科目を多く設定している。また、人間関係形成能力の育成を主な目的とした学校設定科目「コミュニケーション学習」を設定するとともに、ソーシャル・スキル・トレーニング（SST）を全校生徒を対象にLHRで年2回、放課後の時間に希望者を対象に年8回実施している。</p>		
2	桑名高等学校	夜間定時制
<p>就労に向けて早期に保護者面談を通じて発達障がい支援員を要請し、検査と助言をいただいている。特別支援学校の公開授業を通じて学習方法について情報交換を行い、授業では視覚からの情報も入りやすいようICTの活用に努め、ユニバーサルデザイン授業の実践の充実と授業規律の確保に努めている。簡略であるがこれまでの個別のカルテを作成し、指導計画書の準備をしている。</p>		
3	尾鷲高等学校	夜間定時制
<p>読み書きが極端に苦手な漢字がほとんどわからない生徒に対して、国語の授業で基礎的な漢字の読み書き学習に多くの時間を割いている。また、他の教科でも教材にルビを振ったり、テスト問題を教員が読み上げたりして、各教科の学習成果が発揮できるよう配慮している。</p>		
4	飯野高等学校	夜間（二部制）定時制
<p>保護者や外部機関との連携をとおり、個々の状況に応じた配慮を行っている。</p>		
5	北星高等学校	昼間定時制／夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい（ADHD）の生徒に対し、発達障がい支援員から病院を紹介した結果、処方薬により安定してきた。 ・聴覚過敏の生徒に対し、デジタル耳栓を紹介した結果、授業に集中できるようになった。 ・ゲーム依存の生徒に対し、アラームを鳴らし一定時間で区切るよう指導している。 ・自閉症スペクトラムの生徒には、発達障がい支援員との面談を行うことでコミュニケーションに対する苦手意識を克服できるよう支援している。 ・自分一人で電車に乗ることができない生徒には、母親と協力しながらスモールステップで訓練していくことを提案している。 		
6	北星高等学校	通信制
<p>スクーリングへの出席が困難な生徒は、定時制の「個別支援」講座を併修することで人間関係を作る経験をさせ、スクーリング出席へとつないでいる。</p>		
7	名張高等学校	夜間定時制
<p>療育手帳を所持している生徒等に対し、市の地域包括センターや県障がい者職業センターと連携をとって就業相談を行っているスクールカウンセラーの相談に繋ぐことやスクールソーシャルワーカーを要請しケース会議を開催している。</p>		
8	上野高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・知的障がいの生徒に対して、非常勤特別支援教育補助員が授業に入り、サポートしている。 ・特別な支援が必要な生徒に対する専門的な知識や経験を持っている発達障がい支援員に、生徒観察や教員への助言をもらっている。 		

9	みえ夢学園高等学校	昼間定時制／夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・入学直後に妊娠休学した生徒（複数名）に対し、特定妊婦に該当すると考え、SSWと共に市福祉行政担当者と連携し、対応した。結果的に、保護者にも感謝され、産まれてくる新しい命を守ることが出来た。 ・発達障がいと考えられる生徒は極めて多い。特に、コミュニケーションに課題がある場合が多いので、「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」などで、コミュニケーション力の向上に取り組んでいる。 		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	松阪工業高等学校	夜間定時制
取り出し授業の中で、日本語の理解力に幅のある生徒への対応として日本語指導を行っている。		
2	桑名高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> 1・2年時に取り出し授業を行い、非常勤日本語指導等補助員が補助している。 配布物にふりがな（ルビ）をつける。入学説明会・保護者懇談会・総合学習・学校行事などには通訳を同行させている。保護者向けの配布物には色紙を使用する。 		
3	飯野高等学校	夜間（二部制）定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・「入門日本語A、B」、「実用日本語A、B」、「入門、実用スペイン語」、「入門、実用ポルトガル語」、「国際理解A、B」の各科目を開設。特別非常勤や外国人支援員などが配置されている。 ・保護者宛の重要文書は、スペイン語、ポルトガル語、英語のバージョンを配布している。 ・全日制（英語コミュニケーション科の6～7割が外国人生徒）とも連携し、JSLカリキュラムを中心とした教材開発を行っている。 ・進学、就職等を見据え、日本語能力検定の取得を勧めている。 		
4	北星高等学校	昼間定時制／夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目（日本語Ⅰ、Ⅱ）において、他の授業を日本語で受けられるよう日本語指導を行っている。 ・日本語Ⅰ、Ⅱでは日本語レベルを見極めながら教材を選択し、また、他教科での理解度を考慮しながら、対話の時間を多く取るよう配慮している。 		
5	名張高等学校	夜間定時制
授業プリント、保護者向けプリントにひらがなのルビを振っている。漢字の習得のため小学校3年生程度の漢字学習を続けている。アルバイトの面接、ハローワークの訪問に必ず担任教諭が付き添っている。保護者会等における通訳の必要性はその都度検討している。		
6	上野高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人生徒教育のための非常勤講師が授業に入り、授業担当者とT・Tを行い、外国人生徒をサポートしている。 ・授業開始前、日本語指導が必要な外国籍生徒のために日本語の補習を行っている。 		
7	みえ夢学園高等学校	昼間定時制／夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目「日本を学ぶⅠ・Ⅱ」により、生活言語～学習言語に課題のある生徒に、日本語指導および日本での生活習慣等についても、指導している。対象生徒は、入学時の日本語力テストや本人の希望等で決定している。 ・上記授業の中で、日本語で、日頃の雑感などを作文する取組を行っており、それを元に、外国籍生徒の「思い」を理解することも行っている。 ・各教科・科目とも、「やさしい日本語を使う」「プリント・テスト等ではふりがなを付ける」などの工夫をしている。 ・学校全体として、今年度より「聞く、書く（メモする）、伝える」力の育成に取り組んでいる。その一環として、みえ夢ノート（または手帳）の導入を計画している。 		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	尾鷲高等学校	夜間定時制
<p>・本校入学前より、居住地における役所の福祉保健担当部署と社会福祉協議会が家庭への支援に関わっており、本校も必要に応じ、両者と連携を図りながら情報共有に努めている。</p> <p>・家庭の教育力の基盤が脆弱なためか、本人の登校意欲や学習意欲が不安定な傾向がみられ、クラス担任を中心に声かけや電話連絡をこまめに行っている。</p>		
2	北星高等学校	昼間定時制／夜間定時制
<p>・アルバイト先の紹介と、就労に対し不安を抱く生徒への相談体制を整えている。</p> <p>・事務職員により支援金の提出書類等の書き方を支援している。</p> <p>・就労の関係から授業に出られない生徒に対し、一定時間、他部の授業を受けることができるよう配慮している。</p>		
3	北星高等学校	通信制
<p>県SSW、市保護課、社会福祉協議会、出身中学校、兄弟の在籍校、家庭児童相談室（子ども家庭支援課、子ども総合相談センター等）、市保健所等の関係機関と連携し、ケース会議を開催しながら家庭、本人への働きかけを行っている。</p>		
4	名張高等学校	夜間定時制
<p>奨学金等の案内をこまめに行っている。アルバイトを紹介したり、相談に乗る。市役所の福祉課等と密接に連携をとる。社会福祉協議会のサポート員と連絡を取り合う。</p>		
5	上野高等学校	夜間定時制
<p>保護者の養育力が低い生徒に対して、SSWと連携して社会福祉協議会の支援申請や生活保護申請等を行っている。</p>		
6	四日市工業高等学校	夜間定時制
<p>進路指導担当者が定期的にハローワークを訪問し、登校前に就労可能な就労情報を収集し、進路指導部及び担任を通じて、就労指導をしている。</p>		
7	みえ夢学園高等学校	昼間定時制／夜間定時制
<p>対象生徒が極めて多く、個々の対応が困難である。親と共に行方不明となった生徒について諸費滞納もあり、市福祉行政、関係小学校（妹在籍）と連携して対応しようとしたが、SSWがうまく機能せず、成果を得られなかった。</p>		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	桑名高等学校	夜間定時制
<p>保護者・保護司との連絡を密にとり、情報共有に努め、月ごとに目標が持てるよう指導していた。</p>		
2	尾鷲高等学校	夜間定時制
<p>生徒の非行・犯罪歴の把握は困難だが、生徒間では過去に悪質な交通違反で検挙されたような話が出ている。これらに該当する生徒の多くは学習意欲に乏しく、授業に出席しても真剣に取り組まなかったりする。そこで各授業では、その日の内容や学ぶ意義について丁寧に説明したり、学習の重点を絞り込むなど、「これだけはやろう！」と声をかけたりして参画意欲や興味・関心の喚起に努めている。</p>		
3	上野高等学校	夜間定時制
<p>学校警察連絡制度により、管内警察署と非行事案の情報共有ができています。</p>		

【滋賀県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	滋賀県立大津清陵高等学校	昼間定時制・夜間定時制・通信制
<p>最大20人程度の少人数で授業を展開している。教育課程に国語、数学、英語については基礎コースを設置して、基礎学力が十分でない生徒については受講するように指導している。</p>		
2	滋賀県立彦根工業高等学校	夜間定時制
<p>定時制では、中学校で不登校経験のある生徒が増えており、高校1年生は学校の集団生活に馴染むために2クラスに分割(2人担任、分割授業)している。始業時間が遅いことと少人数授業であるため、ほとんどの生徒が授業に出席することはできている。</p> <p>小中学校での学習不足のため読み書き計算でつまづく生徒もおり、各授業内でレポートなどに取り組みせる時間を設けて、読む、書く、計算する学習経験を増やしている。これにより、授業中に鉛筆をもって机に向かう姿勢はできるようになる。しかし、家庭学習の経験がない生徒が多く、宿題を課して基礎学力をつける指導は難しい面がある。</p>		
3	滋賀県立能登川高等学校	昼間定時制・夜間定時制
<p>定時制昼間・夜間部ともに、1クラスの募集定員のところ、入学後は基本的に2クラス編成にして、空間的にもゆとりを提供し、教員が生徒ときめ細かく向き合える体制を作っている。</p>		
4	滋賀県立長浜北星高等学校	夜間定時制
<p>・始業前の基礎学力補充指導を実施している。漢字検定の受験を勧め、下位級からの指導や、特に必要な生徒には、加減乗除の算数指導も行っている。</p>		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	滋賀県立大津清陵高等学校	昼間定時制・夜間定時制・通信制
<p>毎月1回の情報交換会を実施して、支援の必要な生徒に関して情報を共有するとともに、外部機関との連携、SCとの連携についても話し合っている。情報交換会にはSCも出席している。</p>		
2	滋賀県立彦根工業高等学校	夜間定時制
<p>情緒障害があり家庭内暴力を起こしている生徒には、学校だけで抱えることなく、専門的知識と支援経験のある臨床心理士から助言を受けながら、市子育て支援課、市少年センター等の関係者とケース会議を開催し、情報共有するとともに支援の役割を分担している。これにより、保護者や兄弟への対応は学校外の機関が主として対応し、学級担任や特別支援教育担当は、生徒の心理的側面に配慮した学校での支援に注力できるようになる。</p>		
3	滋賀県立能登川高等学校	昼間定時制・夜間定時制
<p>校内での定期的な情報共有はもちろん、必要に応じて、行政・福祉担当者等との連携によって、関係者会議を設定している。</p>		
4	滋賀県立長浜北星高等学校	夜間定時制
<p>・教室にじっとしてられない統合失調症の生徒のため、出席規定の弾力的運用を行い、全員対象の給食摂取も免除している。</p>		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	滋賀県立大津清陵高等学校	昼間定時制・夜間定時制・通信制
<p>昼間部・夜間部においては、学校設定科目に「日本語」を設置し履修させている。日本語の習熟に応じて、日本語A～Dの科目を開講している。</p>		
2	滋賀県立彦根工業高等学校	夜間定時制
<p>来日して間もない外国籍の生徒で保護者も日本語が話せない場合は、まずは日常会話やひらがなの読み書きの習得が必要であり、高校の教科書レベルの理解まで指導することは難しい。そのため、県教育委員会事務局高校教育課のハートフル支援事業による通訳派遣を定期的に活用するとともに、昼間に地域の日本語教室へ通うことを勧めている。学校では、毎日1時間程度の日本語補習(小学校1年生の教科書レベル)や定期考査別室受験などで個別サポートをするとともに、生徒間の好ましい人間関係の中で学校生活できるように職員全体で見守っている。徐々に日常の会話ができるようになる実感はあるものの、学習内容の理解ができるまでには時間を要する。</p>		
3	滋賀県立能登川高等学校	昼間定時制・夜間定時制
<p>外国にルーツを持つ生徒は多く在籍しているが、特に日本語が不自由で日常的に特別な支援が必要と思われる生徒は見当たらない。</p>		
4	滋賀県立長浜北星高等学校	夜間定時制
<p>・日本語理解のための始業前補習を実施している。日ポ辞典を活用し、日常生活に必要な語彙の習得に努めている。国語では習熟度別授業を行い、評価規準も工夫している。</p>		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	滋賀県立大津清陵高等学校	昼間定時制・夜間定時制・通信制
<p>定時制・通信制とも就学支援金の制度を利用する生徒がほとんどである。授業料の減免措置を受けている生徒も多い。また、多くの生徒がアルバイトや仕事に就いている。</p>		
2	滋賀県立彦根工業高等学校	夜間定時制
<p>ほぼすべての生徒が就学支援金支給対象者であり、収入状況の調査から家庭の経済状況を把握できる。経済的に困難な家庭の生徒には、奨学給付金、学び直し支援金、定通修学奨励金、教科書購入費交付金、夜食費負担軽減(給食)、各種団体奨学金の活用で対応し、担任や事務室担当が申請の書類準備を根気強く支援している。また、夜間定時制であり昼間に働いて収入を得ることも奨励している。現在、約7割の生徒がアルバイト等をしており、自ら収入を得ることで生活の自信をつけて表情が明るくなった生徒も多い。</p>		
3	滋賀県立能登川高等学校	昼間定時制・夜間定時制
<p>一定の手続・評価の上に、就労の成果を単位修得に反映させる実務代替によって支援している。就学支援金・給付金の該当率は非常に高い現実がある。</p>		
4	滋賀県立長浜北星高等学校	夜間定時制
<p>・ハローワークと連携を図り、時には教員が生徒に同行しながら、就労先の確保に努めている。本校生や卒業生が多く勤めている企業と密接に連絡を取り、生徒の適性を考えながら就労紹介を行っている。</p>		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	滋賀県立彦根工業高等学校	夜間定時制
<p>高校入学者選抜で合格したすべての生徒について、出身中学校に出向いて人柄、学力、家庭生活の聞き取りを行い非行や犯罪が心配される生徒を把握し、全教員が情報を共有している。そうした生徒に学校生活でのルールを指導するうえで、生徒との人間関係を築くことが大切となるため、生徒指導担当や担任は入学後から意識的に声掛けを繰り返し行っている。こうした日常の取組を継続することにより、問題行動の未然防止につながり発生件数は減少している。課題としては、非行歴のある生徒は学校外の有職少年や無職少年とのつながりができたとき、夜間定時制の授業時間に遊ぶようになり学校の欠席が増えていくことがあるため、学校内の仲間づくりや部活動などで登校する意欲を持たせる続ける必要がある。</p>		
2	滋賀県立能登川高等学校	
<p>校内でカウンセリング対象として、心のケアに努めている。</p>		

【京都府】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	清明高等学校	昼間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・「学び直し科目」の設定：「アンダンテ国語」「アンダンテ数学」「アンダンテ英語」「反復数学」を開講して、ICT 機器（タブレットと「eboard」,「Classi」,「ライズドリル」等の教材使用）やプリント等を活用し、自らの課題や進路に応じた自学自習を行う。 ・「アネックスルーム」の活用：入学後も不登校傾向の生徒に対して、授業に入るトレーニングとして学習する小部屋を設置。関係の教員が対応する。 		
2	鳥羽高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に2単位「スタートライン」として設置。内容は小中学校の学習面（国語・数学・英語）の振り返りとして各自でプリント学習・答え合わせを行い、各自のペースで進めて行く。 ・大学生教育ボランティアの始業前補習として、週1回60分、学力面課題生徒について実施している。 ・学力面で支援が必要な生徒に対して「取り出し授業」を実施している。 ・先の授業で使用するプリントや教科書の範囲を事前に指示し、自分自身で予習をする。 		
3	綾部高等学校東分校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・特に小中学校の学習内容が定着していない数学において、学校設定科目「数学入門」を設置して、振り返り学習を行っている。 		
4	福知山高等学校三和分校	昼間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校（傾向）の生徒については、集団のなかにいることが難しいケースが多いことを踏まえて、 <ol style="list-style-type: none"> 1 ひとりになって休養したり、気分転換したりできる場所を準備する。 2 不安なこと、支援が必要なこと等を教職員に伝えることができる関係性を築いていけるようなかわり・支援を継続する。 3 教育活動の一部を少人数で行うことを認める一方で、将来的に集団のなかで当該活動が行うことができることを目指して、個に応じたスモールステップでの指導・支援を継続する。 4 必要に応じて、SCとのコンサルテーション、主治医訪問等で、見立て及びかわりについての助言を受ける。 		
5	宮津高等学校伊根分校	昼間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着をめざし、定期的に漢字・計算のドリルに取り組む時間を設けている。内容は小学校段階にさかのぼったレベルから始めている。 		
6	網野高等学校間人分校	昼間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒に対して、担任、教務部長、養護教諭の家庭訪問を繰り返すとともに、場合によっては、スクールカウンセラーも同行して教育相談を行っている。また、中学校や市教育支援センターとの連携の下、生徒の登校を促している。 ・学校には登校しているが教室に入れない生徒に対しては、別室で指導する場合もある。 ・不登校により退学した生徒に対しては、府の「脱ひきこもり支援センター」へつなげ、就労支援を行っている。 		
7	伏見工業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・0時間目（始業前）に個々に応じた内容で補習を行っている。（今年度1年生から任意で） 		
8	西京高校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・入学直後に英語・数学の学力診断テストを行い、基礎学力が定着していない生徒に対して始業前に「勉強会」を実施している。英数の教員だけでなく、当番制で多くの教員がかかわっている。「勉強会」に通い続けたことが進級につながったと実感できている生徒もいる。 		

9	朱雀高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・週1回平日(月 or 水)夜間と月2回程度日曜昼間にスクーリングを開校しており生徒は自らの都合に合わせてどちらにも出席できるようになっている。 ・中間や期末という期間を区切った形のテストではなく年間を通じてテストが平日夜間や日曜昼間の時間帯に設定されており、テスト受験条件の整った生徒は自らの都合の良い日時に受験できるようになっている。 ・スクーリングには講義(一斉授業)形式のものと、教員は教室にいるが講義をせずに生徒の質問に答える個別指導形式の2つのタイプがあり、生徒は選んで出られるようになっている。 ・遠距離の通学に困難を感じている生徒のために、年4回京都府南部地域の八幡市の高校を借りてスクーリングを実施している。 ・不登校など様々な理由で高等学校に通えなくなった生徒のために年度途中(8月)での転入学生を受け入れている。 		
10	西舞鶴高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目「AEBL(数学の基礎・英語の基礎)」を開講して、振り返り学習を行っている。 ・毎週「連絡会」を開催し、「生徒の現状や不登校要因等」に係る情報を教職員で共有し、最善の手立てを模索している。 ・スクールカウンセラーや関連機関等と連携し、生徒の環境改善や課題克服に向けて対応している。 ・スクーリング以外に、毎週水曜日及び木曜日に「レポートに関わる個別指導」を設定し、生徒の学力保障のニーズに応えている。 		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	清明高等学校	昼間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・個別のアセスメント後、生徒の実態やつまずきに応じた「学習サポート」を実施している。具体的には、書字障害の生徒にはPCによるノート作成及び考査答案。聴覚過敏の生徒にはイヤーマフの使用許可。70代の生徒及び本態性振戦の生徒には考査解答用紙の拡大や時間延長である。 ・板書をノートに写すのが遅い生徒には、板書をタブレットで写真撮影させ、後に家庭や校内でノート記入を完成させ、教科担当者が確認している。 		
2	鴨沂高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・配布プリントの形式や定期考査問題の形式などのユニバーサルデザイン化に向けた取組を試行中である。 		
3	桃山高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・本人、妹、母親の3人で生活をしてきたが母親が亡くなり、母親に代わって保護者となる適切な親類や縁者が存在しなかった。 ・学校としてスクールソーシャルワーカーにも加わってもらい状況の把握を行うと共に今後の方向性について検討を行った。 ・児童相談所とも連携を図りながら対応し、裁判所へ未成年後見人選任の手続きを行い、その結果として弁護士2名が後見人として選任された。 		
4	綾部高等学校東分校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・療育手帳を有する生徒に対して、市の福祉課、地域生活支援センター、共同作業所等の担当者と連携して進路指導を行い、卒業後の就労につなげた。 		

5	福知山高等学校三和分校	昼間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員に対し年度当初に新・転入者（非常勤講師も含む）を対象に特別支援教育にかかわるオリエンテーションを実施している。 ・学習指導にかかわって「ゆっくり・丁寧に・繰り返す」を指導支援方針として、授業等のユニバーサル化を進めている。 <ul style="list-style-type: none"> 例 ・プリント・板書・テスト問題の漢字にルビを付ける。 ・ゆっくりと生徒がわかる言葉で、一文一文区切って説明する。 ・時間内に板書内容を写せるよう板書の量を勘案する。 ・テスト前に対策プリントを作成し、生徒が見通しをもって繰り返し学習に取り組むことができるようにする。 ・記憶・語想起が弱いことに配慮して、考査では選択肢問題を比較的多く設ける。 ・視覚情報を添えて、指示・説明をする。 ・評価において、生徒の実態や特性に応じた工夫をする。 ・年6回校内委員会を開催し、以下の内容について情報交換・協議を行い、生徒の現状・特性、指導・支援の方針についての共有を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ア 要支援生徒等の様子について イ ケース会議の開催（巡回相談の利用）を要する生徒について ウ 個別の指導計画の評価・改善について エ 進路指導上配慮・支援を必要とする生徒について ・週一回支援員打ち合わせ会を開催し、生徒の様子、指導・支援内容等を確認し、必要に応じて、担任・学科・分掌との速やかな連携に努めている。 ・必要に応じて、主治医訪問を行ったり、関係機関等の協力を得て、ケース会議を開催したりしている。 ・就労を見据えた早期からの生徒・保護者との面談、発達検査・職業評価の結果等をもとにした関係機関とのケース会議（地域別進路相談会）、就労体験等を必要に応じて行っている。 ・療育手帳を取得している生徒について、本人及び保護者との話し合い、校内委員会での審議を経て、当該生徒の追認考査の考査範囲を3つに分けて考査前の個別指導及び考査の実施を行っている。 		
6	宮津高等学校伊根分校	昼間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・授業のユニバーサルデザイン化をめざし、視聴覚教材の積極的導入やわかりやすい板書の工夫、配付プリントや考査問題等にふりがなをつける等の取組を進めている。 ・総合的な学習の時間を利用して、SST（ソーシャルスキルトレーニング）を実施し、生徒の社会性や対人関係構築力を育てている。 ・全校職員が参加する特別支援会議を毎月実施し、発達上の課題を抱える生徒等について情報共有及び指導方針の確認を行っている。また、必要に応じ個別の指導計画を作成している。 		
7	網野高等学校間人分校	昼間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者手帳を持つ生徒に対して、トイレを改修し、その生徒専用のトイレを作った。 ・学習に遅れがちな生徒が多いので、他教科の教員を支援教員として授業に配置したり、総合的な学習の時間を使った振り返り学習、考査前の徹底した個別指導で対応している。 ・知的発達に遅れのある生徒に対しては、積極的に療育手帳の取得を促し、手帳を使った進学、就職の道を開拓している。 		

8	伏見工業高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・SC（スクールカウンセラー）に毎週金曜日 18:00～22:00、来ていただいて、困りを抱えた生徒のカウンセリングや担任のコンサルテーション等を行ってもらい、大いに助かっている。 ・今年度1年生から、通級指導（0時間目）を実施しており、専任教諭を含めた4名体制で学校生活支援部を立ち上げ、発達課題のある生徒に対して個別の指導計画を作成し、対応している。
9	西京高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を書くのに時間がかかり授業中に板書を写しきれない生徒に対して、iPadを貸出し写真に撮り放課後に写させている。だんだんと早く書写しができるようになり、2学期以降iPadの必要がなくなった。
10	朱雀高等学校	通信制	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子生徒や四肢に不自由のある生徒、高齢生徒のためにエレベーターが設置されている。 ・体育実技においては多様な生徒が安全に実技ができるよう実技補助の講師を配置している。
11	西舞鶴高等学校	通信制	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週「連絡会」を開催し、生徒の「困り感」に係る情報を教職員で共有し、最善の手立てを模索している。 ・スクールカウンセラーや自治体関連機関等と連携し、生徒の課題克服に向けて対応している。 ・スクールソーシャルワーカーを招き校内研修を実施し、教職員のスキルアップとともに、具体的な対応の手立てについて、保健部と担任が連携し対応を検討している。 ・必要に応じて、「個別の支援計画」を策定し、学力保障に対応する体制を整えている。

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)	
1	鳥羽高校高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生教育ボランティアの始業前補習として、週1回60分、外国人生徒に対して実施している（中国籍生徒と中国籍生徒以外の外国人の2つに分けて実施）。 ・母語を日本語としない生徒に対して、授業時に言語支援講師が支援している（中国語、英語）。 ・先の授業で使用するプリントや教科書の範囲を事前に指示し、わからない日本語などについて自分自身で予習する。
2	綾部高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語習得の目安として日本語検定を位置づけ、その取得を目指して、始業前の時間に補習を実施した。
3	福知山高等学校三和分校	昼間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・授業において、電子辞書を利用させる。 ・支援員が日本語の意味理解、漢字の字形等について個別に指導・支援する。 ・個別に日本語の語彙を増やすための補習、教育漢字の読み書きの補習を行う。なお、漢字の書き取りについては、田のマス目を使って行なう。
4	西京高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント教材にはルビをつけている。また、国語の授業は取出し授業を行い日本語指導教員（国語免許所有）が担当している。

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	鴨沂高等学校	夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> ・就学支援金や京都府の就学給付金、教科書補助事業等の活用を促している。アルバイトを奨励し、現在9割の生徒がアルバイトをしている。 	
2	鳥羽高等学校	夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回校内において、自立就労サポートセンターによる「就労支援相談会」を実施している。 	
3	網野高等学校間人分校	昼間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> ・市寄り添い支援総合サポートセンターや市要保護児童地域対策協議会（要対協）、ハローワークとの連携の下、市の援助制度の紹介や就職支援を行っている。 	
4	西京高等学校	夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしをしている成人生徒に対してSSWがかかわり生活保護を受けることができた。 	
5	朱雀高校	通信制
	<ul style="list-style-type: none"> ・定時制に常駐しているSSWを通信制でも活用しながら公的な支援へとつながれるような体制を整えてきている。 	
6	西舞鶴高等学校	通信制
	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週「連絡会」を開催し、「経済的課題」を抱える生徒に係る情報を教職員で共有し、関連機関と連携するとともに、就学支援制度等を活用しながら、課題改善に向けて対応している。 ・特に、「大学進学等」を希望している生徒については、進路指導部及び担任が協働し、希望進路実現に向けて模擬試験の斡旋や個別指導等、対応策を講じている。 	

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	綾部高等学校	夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> ・在籍中に厚生施設に入所した生徒の出所後から復学までの間、ユースサポートと連携し、生活状況の把握と学習支援を行った 	
2	西京高等学校	夜間定時制
	<ul style="list-style-type: none"> ・非行歴を有し保護観察中の生徒の保護司と学校側が定期的に面談し情報共有を行っている。 	
3	朱雀高等学校	通信制
	<ul style="list-style-type: none"> ・民生部青少年課立ち直り支援チームの支援員や学警連携による情報共有を通して学校への定着や社会復帰を支援している。 	
4	西舞鶴高等学校	通信制
	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪歴を有する生徒は、現時点では在籍していない。非行等については、生徒指導部及び担任並びに外部機関と連携し、生活指導等を展開している。なお、学力面については、個別指導等を中心に、生徒の意識を「学び」に繋げるような配慮を行っている。 	

【大阪府】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	大阪府立三国丘高等学校	夜間定時制
	・1年次において、毎日15分のモジュール授業を行い国語・数学・英語の学びなおしを行っている。	
2	大阪府立春日丘高等学校	夜間定時制
	・居場所づくりのために「なんでも相談室：春定カフェ」を毎週開設（予算がついていないので、学習支援員の協力と寄付によるお菓子で運営）。	
3	大阪府立成城高等学校	夜間定時制
	・学校設定科目：基礎教養を0時間目に開講して、義務教育段階の振り返り学習を行っている。	
4	大阪府立藤井寺工科高等学校	夜間定時制
	・毎週木曜日 17:00～17:40、中学校までの国語・数学の内容を、個別に応じて『振り返り学習』を実施している。また、数学や理科の科目で、10分ほどの計算を繰り返す『モジュール授業』を実施している。	
5	大阪府立布施高等学校	夜間定時制
	・学力の不足している生徒が見られるので、国語・数学・英語については、始業前の0限授業を選択するよう、生徒・保護者に勧めている。選択すれば到達度に合わせて学習支援ができるが、実際に選択して参加しているのは数名程度で、課題が残る。	
6	大阪府立西野田工科高等学校	夜間定時制
	・総合的な学習の時間において、基礎学力の向上を目的に、国語・数学・英語の教科において卒業するまでに、生徒が理解してほしい内容を、4段階のレベルに分け、プリント学習に取り組み、基礎学力の向上をめざす。年間2回実施するテストにおいて言っている成績を修めれば、教科ごとにレベルが上がる仕組みになっており、生徒自身が卒業までに自分の可能性を探求する取組となっている。	
7	大阪府立堺工科高等学校	夜間定時制
	・基礎学力の定着を図るため、選択制の0時限目授業において、日常生活に必要な読み・書き・計算や健康維持などを学ばせている。	

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	三国丘高等学校	夜間定時制
	・配慮の必要な生徒について、学校から配付するプリントや考査についてルビを付けている。	
2	大阪府立春日丘高等学校	夜間定時制
	・人工呼吸器を使用している生徒に対して、看護師、学習支援員、介助員がついてサポートしている。	
3	大阪府立成城高等学校	夜間定時制
	・大阪産業大学と連携し、学生ボランティアに学習サポート等に協力してもらっている。	
4	大阪府立大手前高等学校	夜間定時制
	・車椅子生徒の階段昇降時の抱え上げ負担を軽減するため、軽量の折り畳み式車椅子を新規に購入した。また、当該生徒入学後に教育庁と協議し、多目的トイレを設置した。	
5	大阪府立布施高等学校	夜間定時制
	・何らかの障がいがあり、授業の理解に時間がかかると思われる生徒には、できるだけ学習支援員がサポートし、授業理解が進むよう支援している。	

6	大阪府立和泉総合高等学校	夜間定時制	・発達障がい等がある生徒について、SSW・SCと協働してキャリア教育を含め学習と就労支援を行っている。
7	大阪府立和泉総合高等学校	夜間定時制	・在学中に妊娠・出産を経験した生徒について、SSW・SC・学校が協働して、市町村との連携も含め、育児をしながらの就学継続を支援し卒業学年までたどり着いた。
8	堺市立堺高等学校	夜間定時制	・工・商業高校で教員数が多いこともあり、8人ほどの生徒に一人のチューターを配置している。
9	大阪府立堺工科高等学校	夜間定時制	・教員と臨床心理士が、支援を必要とする生徒に対して、学習状況の聴き取りを定期的に行っている。
10	大阪府立今宮工科高等学校	夜間定時制	・在学中に出産を迎える生徒に対しては、特に学校医と主治医の意見交換に基づき健康、安全に配慮をするとともに、産前産後の休みの学業補填として、生徒の体調を考慮し、長期休業中に補習を行っている。

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)	
1	大阪府立佐野工科高等学校	夜間定時制	・府事業において、日本語サポーター年間15回(母語・日本語支援)
2	大阪府立三国丘高等学校	夜間定時制	・国語と社会の科目について、抽出授業を行っている。
3	大阪府立春日丘高等学校	夜間定時制	・国語の授業では個別、総合的な学習の時間については付き添って指導。
4	大阪府立布施高等学校	夜間定時制	・日本語の意味の理解が難しいので、日本語支援員の運用を進め、『日本語』を学習する授業を行っている。日常生活で困らない程度には理解できるよう、個別指導も行っている。
5	大阪府立今宮工科高等学校	夜間定時制	・国語、社会の科目において補助教員を配置し指導を行っている。学校生活においても、生徒間の会話を促進するため翻訳機を使用し、日本語の理解を深めさせている。また、府立学校間で開催されている外国籍生徒同士の交流会にも積極的に参加させている。

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)	
1	大阪府立成城高等学校	夜間定時制	・今年度から学校独自でSSWを雇用し、相談業務等に当たっている
2	大阪府立藤井寺工科高等学校	夜間定時制	・大阪府教委の『課題を抱える生徒フォローアップ事業』対象校として、定時制4校が指定されている。SSWが配置され、市役所福祉関連部署と連携し、支援を行っている。両親がろう者の生活保護家庭の生徒が、SSWの働きにより登校再開できるようになり、卒業した例有り。
3	大阪府立布施高等学校	夜間定時制	・できるだけ早くから奨学金等の案内を行い、計画的に資金準備が行えるよう働きかけている。また、外部より講師を招いて教員用の研修も併せて行い、進学に必要な資金の確保に向けて、

教員が生徒・保護者からの相談に対応できるよう取り組んでいる。		
4	大阪府立桃谷高等学校	通信制
・授業料を1単位330円としている。上限である30単位を履修修得しても年間9,900円となり、私学の通信制学校と比較しても30分の1程度である。		
5	大阪府立桃谷高等学校	通信制
・本校の日夜間部には託児所が設置されており、単位修得をめざすさまざまな生徒が学業に専念するため、スクーリングやテスト期間においては、乳児幼児を預かっている。		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	大阪府立今宮工科高等学校	夜間定時制
・学校へ登校できていない期間の補習を授業開始前、終了後に行っている。また、生活を安全にできるよう。保護司や公共の福祉機関、警察とも連携し、指導に当たっている。		

【兵庫県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	兵庫県立相生産業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目：キャリア基礎（国語、数学）、メカニカル基礎（専門教科の学習に必要な基礎的数学、工業の基礎分野）を設置し、振り返り学習を行っている。 ・定期考査1週間前より、始業前・放課後に30分間の自主学習時間「学びたいむ」を設定している。「学びたいむ」の時間を利用して、支援が必要な生徒に対して個別指導を行っている。また、生徒同士でわからないところを教え合っている。 		
2	兵庫県立姫路北高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の国語・数学・外国語(英語)において、習熟度別授業を実施している。 ・小中学校で不登校だった生徒が多いため、必要に応じて小中学校の教材を用いて丁寧に指導している。 ・学校設定科目を多数開講し、生徒自身が自分の進路に合わせた科目を選択できるようにしている。 ・編入学した生徒には、前籍校での学習内容等を面談で確認し、必要に応じて個別指導(補習)を行っている。 		
3	兵庫県立神崎工業高等学校	夜間定時制職業科
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生、中途退学を経験した生徒のみでなく、全生徒に学校独自の基礎学力テストを年5回実施し、生徒の基礎学力の定着度を計るとともに、基礎学力が未定着の生徒には補習を実施している。 ・地域未来塾として放課後にボランティアの大学生が学習補助をはじめ、生徒の様々な相談相手となった活動を行っている。 		
4	兵庫県立西脇北高等学校	多部制単位制
<ul style="list-style-type: none"> ・北高検定：本校独自検定による中学校段階の学び直し ・学校設定科目「コーピング」：学習スキル・人間関係構築スキル等を学ぶ（1年次2単位）。 ・北高未来塾：「地域未来塾」事業を利用し、兵庫教育大学の学生を招き、タブレットを用い学習を進める。 ・学校設定科目の中に基礎的な内容を実施するものがある（国語・数学・英語中心）。 		
5	兵庫県立洲本高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の授業で、国語（国語総合）、数学（数学Ⅰ）、英語（コミュニケーション英語基礎）の授業時間を増やして、小学校、中学校の学びなおしを行っている。 ・1、2年生の授業を中心に、チームティーチングや少人数授業を実施している。 		
6	兵庫県立飾磨工業高等学校	多部制単位制職業科
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での授業展開や補習で対応。学校設定科目ベーシック数学やキャリア教育で基礎学力の定着および社会人基礎力の育成を図る。 		
7	兵庫県立青雲高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・seiun web schoolなどで自分の学習状況が把握できるようにしている。 ・英語入門、数学入門、社会入門などの学校設定科目で学び直しの機会を設けている。 		
8	兵庫県立赤穂高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・英数国について小中学校の復習教材（市販）を活用して基礎学力の確認と補充を行っている。 ・同室複数指導の授業を増やし、授業時間内での学習の促進を図っている。 ・体験学習を多く取り入れることで自己有用感や自己肯定感を向上させ学習意欲につなげている。 		

9	兵庫県立小野工業高等学校	夜間定時制職業科	<ul style="list-style-type: none"> ・数学では1年の1学期中間考査までは小・中学校の復習。新しく進むときも必ず中学校の復習をしてから高校の範囲に進む。得意な生徒には少し難しいプリントを用意し取り組ませる。
10	兵庫県立網干高等学校	通信制	<ul style="list-style-type: none"> ・学び直しのための学校設定科目「数学入門」「英語入門」を開講している。 ・スクーリング外で自由参加の講座「本物の算数力」を実施している。
11	兵庫県立神戸工業高等学校	夜間定時制職業科	<ul style="list-style-type: none"> ・学校を欠席した場合は3日と置かず、担任から家庭への連絡を実施している。学校に登校するようになれば、同じ様な経験をした者同士がグループを作り、自然と学校に来るようになっている。
12	兵庫県立西宮香風高等学校	多部制単位制	<ul style="list-style-type: none"> ・学び直しの授業として「高校への数学」「コミュニケーション英語入門」などの学校設定科目を設置し、中学校段階からの学び直しができるよう教育課程を編成している ・学力向上事業や、進路サポートに取り組み、学習支援や生徒の実態に合わせた教科指導を行っている。
13	兵庫県立農業高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目：「学びの礎」、「ことば力の礎」を開講し、学び直しを行っている。 ・国語、数学はTTとし、生徒の理解力向上を図っている。
14	兵庫県立有馬高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・三修制では、特定期間で実施する集中講座2単位を含め、3年間で17単位の学校設定教科・科目を配置し、本校のカリキュラムのみでの卒業を可能にしている。
15	神戸市立摩耶兵庫高等学校	昼間定時制・夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・各授業の中で「学び直し」ができるよう、課題を工夫している。 ・グループの形で学ぶことで、全ての生徒が学べるようにしている。 ・少人数授業やTTを実施している。
16	尼崎市立琴ノ浦高等学校	夜間定時制	<p>市教育委員会が事業予算を組み、昼間、大学生から勉強を教えてもらうスタディーサポートを実施している。低学力の生徒や自ら進んで勉強したい生徒が集まる。1日平均10人ほどが参加する。</p>
17	兵庫県立龍野北高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究において、商業実践型店舗である「龍北工房」の企画・運営を行うことで、生徒の自己有用感・自主性の高揚の一助となっている。 ・1学年のみ2クラスに分け、少人数制で指導を行っており、学習面、生活面において、生徒一人一人に目が行き届く。

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)	
1	兵庫県立相生産業高等学校	夜間定時制	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業づくりを各教科で推進している。製図等において平面図だけで理解できない生徒に対して、三次元形状の物体をコンピュータグラフィックを用いて提示するなど、視覚的に理解しやすくするためICTを積極的に活用している。
2	兵庫県立阪神昆陽高等学校	多部制単位制	<ul style="list-style-type: none"> ・併設する阪神昆陽特別支援学校の手法も学びながらユニバーサルデザインの考え方を活かした授業に全職員で取り組み、その成果を冊子にまとめることで教科を越えて工夫を共有している。

		<ul style="list-style-type: none"> ・脳性マヒの生徒について支援員を配置している。支援員は校内の移動(電動車イス)、授業でのタブレット、パソコンの使用等を補助している。 ・校舎から体育館への通路に、段差昇降機を設置している。 ・実践研究校として「通級による指導」を行い、個々の課題に沿った学習活動に、集団及び個別で取り組んでいる。
3	兵庫県立神崎工業高等学校	夜間定時制職業科
		・特別支援学校より特別支援教育コーディネーターを招いて授業観察・ケース会議を行い、アドバイスを受けている。
4	兵庫県立西脇北高等学校	多部制単位制
		<ul style="list-style-type: none"> ・全授業において「ユニバーサルデザイン」を意識した構成を推進 ・「通級による指導」の指定校であり、「コーピングプラス」という講座名で自立活動（2単位）を実施 ・車イスの移動に対し、計画的に移動補助担当を設定（合理的配慮） ・スロープ、エレベーター、多目的トイレの設置（基礎的環境整備）
5	兵庫県立洲本高等学校	夜間定時制
		・個別の指導計画をもとに、入学時に保護者、生徒と面談をして、高校での学習計画を立てる。教科において、学期毎に短期目標や支援内容を考え、学習状況の振り返り等が行えるようにしている。
6	兵庫県立飾磨工業高等学校	多部制単位制職業科
		・特別な支援を必要とする生徒の対応として、専門科目の実験・実習において少人数展開、複数教員配置で対応している。
7	兵庫県立青雲高等学校	通信制
		<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育委員会を定期的に開催し、ニーズの必要な生徒の把握に努めている。 ・キャンパスカウンセリングを積極的に活用している。
8	兵庫県立赤穂高等学校	夜間定時制
		<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の時間を活用してプリント整理や宿題の提出手順、学習の遅れなど細かく指導している。 ・同室複数指導の授業を増やし、授業時間内での学習の促進を図っている。 ・体験学習を多く取り入れることで自有用感や自己肯定感を向上させ学習意欲につなげている。
9	兵庫県立小野工業高等学校	夜間定時制職業科
		<ul style="list-style-type: none"> ・体験カウンセリングと銘打って新入生には全員カウンセリングをおこなって実態把握に努めている。 ・入試合格発表後、入学までの期間で、新一年生全員の出身中学校及び市の市民福祉部子育て支援課を訪問し情報交換している
10	兵庫県立網干高等学校	通信制
		・車椅子を使用している生徒に介助員を手当てしている。
11	兵庫県立神戸工業高等学校	夜間定時制
		<ul style="list-style-type: none"> ・当該生徒に係る職員で指導担当者会議を持ち、情報共有を密にしている。 ・足の不自由な生徒のために、ホームルームを下の階に移動をした。梅雨時期の廊下結露による転倒防止のため、階段の一部にカーペットを敷設した。
12	兵庫県立西宮香風高等学校	多部制単位制
		<ul style="list-style-type: none"> ・通級による指導として、社会スキル・自己理解等に取り組み、自立に向けた個別、少人数の授業を開講している。学校全体としてユニバーサルデザインの考え方を生かした授業を行い、誰もがわかりやすい授業改善に取り組んでいる。 ・合理的配慮については、タブレットの使用や、肢体不自由生徒へのテスト時の代筆、介助員の配置を行っている。個々の実態に応じて、医療や福祉など各関係機関との連携のため、特別支援教育コーディネーターを複数配置し、支援体制を整備している。

13	兵庫県立農業高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・足のけがにより介助が必要な生徒のために階段昇降機を設置している。 ・支援シートを作成し、定期的に関係職員が会議を開き、生徒の支援状況を確認している。 		
14	兵庫県立有馬高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害を抱える生徒について、1週間ごとに学校生活の記録を作成し、それをもとに毎週保護者と情報交換することで、状況に応じた支援、指導を実施している。 ・保護者の同意をえた上で、担任と養護教諭が主治医と直接面会し、学校での支援、指導について医学的な見解、助言を反映している。 		
15	兵庫県立姫路北高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援が必要な生徒に対して、0校時に学校設定教科「学習支援」を開講し、国語分野と計算分野において1年間の支援を行っている。 ・性的問題行動を起こす発達障害の生徒に対して、支援チームを作り、少年サポートセンターや近隣の特別支援学校と連携し、個別の指導計画を作成して対応している。 ・コミュニケーションに課題を持っている発達障害や知的障害の生徒に対して、一定の期間にソーシャルスキルトレーニングを実施している。 ・療育手帳を取得している生徒に対して、市役所の障害福祉課と連携して福祉就労（B型作業所）にむけた進路支援を行った。 ・暴力的な問題行動を行った生徒に対して、臨床心理士の資格を持つ養護教諭によるアンガーマネジメントを実施している。 		
16	神戸市立摩耶兵庫高等学校	昼間定時制・夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・学習に集中できづらい生徒のために、黒板の周りには掲示物等を貼らないようにしている。 		
17	兵庫県立龍野北高等学校	夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目「基礎学習」を開講し、知的支援の必要とする生徒に対して、基礎的な学力を身に付けさせるための補習を行っている。 		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	兵庫県立阪神昆陽高等学校	多部制単位制
<ul style="list-style-type: none"> ・ネパール語を母語とする生徒の学習支援のため、多文化共生サポーターを配置し、漢字をネパール語、もしくは英語に直す、また日本の文化について説明をするなどを通して本人の授業の内容理解を支援している。 ・保護者も日本語を理解しないことから、学校から保護者向けの文書についてもネパール語に翻訳をしてもらい、学校行事や連絡事項などを正確に伝えることが可能となっている。 ・担任だけでなく、年次団も平素から本人の様子を見守り、学校生活を順調に送れるよう配慮している。 		
2	兵庫県立西脇北高等学校	多部制単位制
<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてルビ打ちを実施（授業プリント、考査問題等） ・日本語の力が十分でない生徒には異文化共生サポーターが付く場合がある。 		
3	兵庫県立長田商業高等学校	夜間定時制職業科
<p>県教委から子ども多文化共生サポーターを派遣してもらい、授業支援を行った。</p> <p>国語科教員が放課後に日本語学習の勉強会を行った。</p> <p>教科書や参考資料、定期考査にふりがなをつけてサポートしている。</p>		
4	兵庫県立飾磨工業高等学校	多部制単位制職業科
<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍生徒の保護者と懇談するため、通訳ボランティアを県や市の教育委員会、ボランティアセンターの協力を得て対応した。 		

5	兵庫県立錦城高等学校	夜間定時制	・父親が日本・母親がフィリピンで、高校入学時に日本に来日し、本校に入学、日本語が十分に理解できないので本人の希望科目について外国語支援員（タガログ語）と別室受験の配慮を行った。
6	兵庫県立小野工業高等学校	夜間定時制職業科	・授業プリント、考査問題等ルビうち。日本語理解の程度によりサポーターについてもらったこともあった。
7	兵庫県立西宮香風高等学校	多部制単位制	・渡日後2年以内で日本語が十分でない生徒には、県の子ども多文化共生サポーターの派遣を依頼し学習支援を行っている。 ・通常授業では、希望があればプリントやテスト問題等にルビうちをおこなっている。 ・人権教育推進委員会が中心となって、外国にルーツのある生徒と日本人生徒が共に共生社会のあり方を学ぶための理解啓発活動を行っている。
8	兵庫県立有馬高等学校	夜間定時制	・該当生徒なし ・一般生徒に対しては、グアム修学旅行（3学年で実施）、総合的な学習の時間での異文化理解などで、言語、文化、習慣の違いを理解させ、将来様々な国籍の方々と共生・協働できる力を養っている。
9	神戸市立摩耶兵庫高等学校	昼間定時制・夜間定時制	・大学生の学生ボランティアに授業中のサポートをしてもらっている。
10	尼崎市立琴ノ浦高等学校	夜間定時制	（1）のスタディーサポートとして、大学生が日本語の少し不自由な生徒に対して、国語や社会を中心に授業に入り、通訳をした。

（4）経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	（課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制）	
1	兵庫県立相生産業高等学校	夜間定時制	65%の生徒は、昼間アルバイトを行い学費に充てている。さらに経済的に困難を抱える2名の生徒には、給付型奨学金の給付を受けている。
2	兵庫県立姫路北高等学校	夜間定時制	・経済的不安を軽減するために、就職情報誌や新聞広告等で生徒の実情に合う求人を探し出し、企業と事前に条件等の交渉を行った求人を教室掲示して募り、アルバイト斡旋を行っている。
3	兵庫県立青雲高等学校	通信制	・スクールソーシャルワーカーを積極的に活用し、関係機関との連携を図っている。
4	兵庫県立小野工業高等学校	夜間定時制職業科	・入試合格発表後、入学までの期間で、市の市民福祉部子育て支援課を訪問し情報交換している。その後、必要な生徒のことは連絡をとりあっている。
5	兵庫県立神戸工業高等学校	夜間定時制職業科	・地域の商工会議所・各種業界協会などと連携をして、アルバイトを含む就職を斡旋し、経済的自立を目指す。本校では有料インターンシップの位置づけで、そのままその企業に就職する生徒もいる。
6	兵庫県立西宮香風高等学校	多部制単位制	・担任及び各部に配置されたコーディネーターが当該生徒の家庭状況を把握し、場合によっては、各自治体の生活保護課、児童相談所等と関係機関と連携し、情報共有やケース会議等を行っている。

8	兵庫県立農業高等学校	夜間定時制	・ハローワークを利用しながら、アルバイト等の就労支援を行っている。
9	兵庫県立有馬高等学校	夜間定時制	・SSWの活用方法について職員研修を実施し、ケース会議などを通して、様々な家庭状況に対応できる指導力を高め、家庭環境を含めた学習環境の改善にあたっている。 ・諸費滞納家庭に対しては、事務室と連携し、長期的な支払い計画を策定するなど、生徒の学習意欲に影響が出ないように努めている。
10	神戸市立摩耶兵庫高等学校	昼間定時制・夜間定時制	・キャリア教育などで、お金の使い方を学ぶ時間を設定した。
11	兵庫県立龍野北高等学校	夜間定時制	・学校設定科目「体験活動」を開講し、生徒がアルバイト等の勤労体験を行い、その中で学習した事象を発表することで単位を認定している。

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)	
1	兵庫県立西脇北高等学校	多部制単位制	・警察と連携し、在校生の実態の把握に努めている。また、対象生徒の変化に気付きやすいよう、積極的にコミュニケーションを図ることとしている。
2	兵庫県立飾磨工業高等学校	多部制単位制職業科	・前・後期制、単位制をとっており学習支援を含め単位取得が可能な体制をとっている。 ・外部機関（市役所、警察、地区連携等）との連携で実態把握に努めている。 ・校門や見回りでの声かけなど心のケアに対応する体制を整えている。
3	兵庫県立青雲高等学校	通信制	・問題行動があった場合は特別指導を行うが、焦らせずゆっくりと見守る。形式的な指導にならないよう本人や保護者と連携しながら時間をかけて指導している。
4	兵庫県立小野工業高等学校	夜間定時制職業科	・入試合格発表後、入学までの期間で、新一年生全員の出身中学校及び近隣の警察署を訪問し情報交換をしている。警察とは学期に一回は情報交換をしている
5	兵庫県立神戸工業高等学校	夜間定時制職業科	・入学後特別指導を繰り返す生徒に対しては、他の生徒より早く登校させ、毎日わずかな時間でも面談を行うなど職員と話す機会を増やし、生徒の状況把握をする。
6	兵庫県立西宮香風高等学校	多部制単位制	警察、少年サポートセンター、児童相談所等と連携し、対象生徒の情報共有を行っている。通常から警察による学校近隣の見守り体制を整え、事案が起こった場合に、迅速に対応してもらえるように連携を取っている。
7	兵庫県立有馬高等学校	夜間定時制	・家庭裁判所からの措置により欠席した生徒に対しては、長期休業を利用し、登校による個別指導を実施した。 ・保護司、警察との連携を密にし、生活を改善することで学習支援につなげている。
8	神戸市立摩耶兵庫高等学校	昼間定時制・夜間定時制	・生徒指導部主催で講演会を実施し、これからの生き方を全校生徒で考えた。

【奈良県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	A 高等学校	夜間定時制
・第1学年において、在籍生徒の過半数が中学校で不登校経験を有しており、学びが不十分である前提で授業内容を構成している		
2	A 高等学校	夜間定時制
・一部生徒に夏期休業中に国語、数学、英語の学び直しの日程を8日間もうけて取組んでいる。特に、小学校からの不登校生徒には、読み書き、四則計算をやり直している。		
3	B 高等学校	夜間定時制
・4月～5月にかけて在籍全生徒宅へ家庭訪問を行っている。終了後に全職員で結果の共有を行っている。		
4	C 高等学校	夜間定時制
・1,2年生の必修科目について習熟度別コースを設け、3クラスを4講座で実施している。 ・家庭学習期間に「数学基本講習」(希望者)として、高校入学前までの学習をしている。		
5	D 高等学校	昼間定時制
・授業の板書、考査問題に振り仮名を付けるなどサポートしている。 ・在日外国人の保護者に母語通訳事業を活用し、三者懇談や家庭訪問に母語通訳者が同席する。		
6	E 高等学校	昼・夜間定時制
・義務教育の範囲の振り返りや基礎基本を大切に授業の内容を行ない、提出物、授業の取組を十分に評価に取り入れている。 ・ユニバーサルデザインを意識して、誰でもわかりやすい授業を心がけている。		
7	E 高等学校	通信制
・中学の学習内容を復習するための、「入門」科目を開講している。 ・スクーリングの無い日に生徒相談日を設け質問やレポート作成の補助を行っている。		
8	F 高等学校	通信制
・スクーリングは週2回の実施ではあるが、それ以外の日にもいつでも登校して質問などを行える環境を提供している。学習内容が理解できる喜びを感じるように指導している。		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	A 高等学校	夜間定時制
・てんかんの既往歴のある生徒保護者の申し出で、発作時の対応カードを作成し常備している。 (個人情報には配慮して保管)		
2	B 高等学校	夜間定時制
・妊娠している生徒の登校に際して、保護者、産婦人科医と連携をとりながら、安全な学校生活を送れるように、教室の移動・階段の昇降などに教員を配置して配慮をしている。		
3	E 高等学校	昼間・夜間定時制
・対象生徒を抽出し、教科ごとに配慮や手だての方法を考え、個別の指導計画を作成する。 ・特別支援教育支援員が授業に入り、対象生徒の授業補助にあたっている。(週3日) ・SCと連携をとり、精神的に支援を必要とする生徒のケアにあたっている。 ・肢体不自由の生徒に対して、特別支援員が在籍し付きっきりで介助を行っている。 (板書、考査等はPCの入力を認めている。考査時の別室受験や時間の延長。教室移動の配慮)		

4	E 高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・SCと連携をとり、教員全体で支援を行っている。 ・特別支援教育支援員が授業や学習のサポートを行っている。 		

(3) 外国籍生徒、日本語の指導が必要な生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	E 高等学校	昼間・夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対して、懇談時などに母語通訳制度の活用をしている。 ・保護者への案内文などにルビを付けている。 		
2	E 高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・外国人生徒支援員に授業などで生徒の補助を行ってもらい学習活動を進めている。また、個別指導にも協力をしている。 		

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	E 高等学校	昼間・夜間定時制
<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金の案内を徹底している。 		
2	E 高等学校	通信制
<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金の案内を紹介している。 ・SSWと連携し相談の乗っている。 		

【和歌山県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	和歌山県立きのくに青雲高等学校	昼間定時制・夜間定時制
<p>不登校、中途退学者において、基礎学力の充実を図る必要がある生徒に対し、国語基礎・数学入門・英語基礎の学校設定科目を選択の科目として設定し、「学び直し」を強化する。</p> <p>また、国語総合・数学Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅰの必修科目の中でも単元に応じて「学び直し」の内容を入れ、その内容をシラバスに載せ、教科担当者が変わっても維持できるようにし、生徒に基礎基本の学力を定着させる。</p>		
2	和歌山県立伊都中央高等学校	昼間定時制／夜間定時制
<p>(1) 学校設定教科「豊かな学び」</p> <p>国語、数学、英語の3教科について、中学校までの学習を学び直すことにより、基礎学力の確実な定着を図り、高校での円滑な学習につなげることを目的として、学校設定教科「豊かな学び」の中に、学校設定科目として「豊かな学び国語」、「豊かな学び数学」、「豊かな学び英語」をそれぞれ1単位ずつ開設し、入学年次にすべての生徒が学べるようにしている。</p> <p>(2) 「子どもの社会的スキル横浜プログラム」</p> <p>「人間関係をうまく築くことができない」、「自分で意思決定ができない」、「自己有用感が低い」など、精神的・社会的な自立が不十分な生徒が少なくないことから、横浜市教育委員会が開発したプログラムを独自にアレンジし、4名程度のグループ活動を通して、人間関係を調整する力やコミュニケーション能力といった生徒の社会的スキルの育成を図っている。</p> <p>(3) ITO 支援室</p> <p>心理的な要因等により、登校の意思があるにもかかわらず登校できない状態にある生徒や登校できるもののクラスで他の生徒と共に学ぶことが困難な状況にある生徒に対して、学校生活に適応し、クラスへの復帰を支援・援助して状況の改善を図ることを目的に、別室で学ぶシステムとして、昨年度より適応指導教室(教育支援センター)「ITO 支援室」を開室している。</p> <p>在室期間は、原則として最長3か月とし、この間に改善が見られ、支援が延長されることで一層の改善が見込めると判断した場合は更に3か月の延長を認めている。</p> <p>ITO 支援室に1時間以上在室した場合はその日を出席扱いとし、教科の課題に取り組んだ場合は別室授業と認定し、その日の当該教科の授業を出席扱いとする。また、監督はあらかじめ時間割に組み込まれた担当を基本とし、必要に応じて生徒への指導・援助を行う。教科担当は、当該生徒の体調や精神状態等を考慮しながら、空き時間や放課後等を利用して無理のない範囲で補習等を行う。</p> <p>学習の評価については、定期考査のほか、ITO 支援室での課題への取組の状況、提出された課題の質等により総合的に評価している。</p>		
3	和歌山県立伊都中央高等学校	通信制
<p>不登校生徒の全通併修</p> <p>学習意欲がありながら登校できない生徒が、原級留置、転学、中途退学することなく不登校の状態を解消し、卒業することが可能となるよう、他の全日制課程に在籍している不登校生徒を対象として、本校の通信制課程において開設している科目を履修することができるようにしている。</p> <p>ただし、この措置は、他校に在籍する不登校生徒が、あくまでも不登校の状態を解消し、卒業することを可能とするということを目的とすることから、学習意欲がない者や不登校の状態が解消する見込みがない者等は対象とはしない。</p> <p>また、本校の通信制課程において修得した単位数については、36単位を上限として単位認定を行うことが法的にも認められているが、何単位までを当該不登校生徒の在籍する高等学校の修得単位として認定するかは当該高等学校長が定めることとなる。</p>		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	和歌山県立きのくに青雲高等学校	昼間定時制
<p>適応障害の生徒について、校内の支援委員会（管理職・カウンセラー・教育相談担当者・スクールソーシャルワーカー・担任）が中心となり対応を考えた。後、医師とのケース会議をもって、PTSD の診断書が提出されたので、出席等について保護者、本人と話し合い、学校長の判断の下、合理的配慮を行うこととした。</p>		
2	和歌山県立伊都中央高等学校	昼間定時制／夜間定時制／通信制
<p>ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育環境の整備</p> <p>発達障害等のある生徒一人一人の特性に応じた適切な指導や必要な支援を行い、教育環境を整えていくこと、なかでも、1日の大半を過ごす授業場面における学習方法の工夫など、日々の学習環境を整え、授業場面での「分かる」、「できる」という満足感や達成感を与えることはとても重要である。</p> <p>このため、県教育委員会の「学習指導支援員派遣事業」を活用して外部講師を招聘し、「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた支援や指導の在り方について」をテーマに、年間10回程度の校内研修を計画・実施している。</p> <p>加えて、通信制課程では、「環境調整（校舎や教室掲示の示し方の工夫）」と「レポートのユニバーサルデザイン化」について取り組んでいる。</p>		
3	和歌山県立伊都中央高等学校	昼間定時制／夜間定時制／通信制
<p>重層的な支援体制の構築</p> <p>(1) 一次的支援（特別支援教育コーディネーター（教諭）をトップとする「教育相談担当者会」による支援）</p> <p>特別支援教育コーディネーター、担任、養護教諭、SC、SSW等による情報交換の機会を定期的に持ち、情報・課題の共有等を行い、早期支援につなげる。</p> <p>(2) 二次的支援（教頭をトップとする「支援委員会」による支援）</p> <p>教育相談担当者会において、個別の支援が必要と判断した生徒についての情報を支援委員会に報告し、必要に応じて外部の専門機関とも連携し、アセスメントに基づいたケース会議を開催し、当面の支援計画を検討する。策定した支援計画については、職員会議等全体の場で情報共有し、学校全体として行っていく。</p> <p>(3) 三次的支援（校長をトップとする「いじめ防止等対策委員会」による支援）</p> <p>支援委員会において、外部と連携した継続的な支援が必要と判断した生徒については、校長をトップとする「いじめ防止等対策委員会」において支援計画を検討することとしている。</p> <p>その際、児童相談所、市町村福祉担当課、青少年補導センター、要保護児童対策地域協議会等の担当者にも出席してもらい、情報や考え方の共有、具体的な支援計画の検討を行っている。</p>		

【鳥取県】

(1) 不登校生徒、中途退学を経験した生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	鳥取緑風高等学校	昼間定時制
<p>○1年次で国語総合・基礎数学(学校設定科目)・コミュニケーション英語基礎、2年次で数学Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅰの授業で4展開の習熟度別クラス編成を実施し、その中の1クラスで主に振り返り学習を行っている。</p> <p>○1年次の選択科目で基礎国語と基礎英語を学校設定科目として設定し、振り返り学習に対応している。</p>		
2	鳥取緑風高等学校	夜間定時制
<p>○少人数での授業展開により、わからない点を丁寧に指導したり、理解が円滑な生徒には別教材を準備するなど、個のニーズに応じた学習指導を行ったりしている。</p> <p>○中学校まで不登校で、人数が多い授業への参加が困難な生徒に対しては、教員がそばにつき添ったり、座席を配慮したりする等、安心して授業に取り組めるように工夫している。</p>		
3	鳥取緑風高等学校	通信制
<p>○規定のスクーリング日以外にも登校を促し、理解不足の教科の個別指導を行っている。</p>		
4	米子東高等学校	夜間定時制
<p>○1年次の国語総合、数学Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅰで、習熟度別授業を実施しており、特に、成績下位クラスの授業では、年度当初から中学の内容の学び直しを中心とした授業を行っている。</p> <p>○定通教育充実事業により「米東サポーター」に委嘱した、高い専門性を有する島根大学の大学院生が、授業で理解の遅い生徒、集中できない生徒に声かけや質問に答える等の支援を行っている。</p>		
5	米子白鳳高等学校	昼間定時制
<p>○国語・数学・理科・社会・英語・家庭・情報では1年次の1クラスを2つに分けて一部習熟度別も含めて展開授業を行っている。</p>		

(2) 特別な支援を必要とする生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	鳥取緑風高等学校	昼間定時制
<p>○1年次の一部の授業で、特別支援教育支援員が支援を必要としている生徒に対して授業の補助を行っている。</p> <p>○必要に応じて教材や考査において漢字にルビをふったり、ひらがなを多用したりするなどの配慮・支援を行っている。</p>		
2	鳥取緑風高等学校	夜間定時制
<p>○メモ・絵図・写真、実物等での視覚的支援を工夫している。</p> <p>○必要に応じて、授業が空いている教員が他の授業にサポートに入っている。</p> <p>○英語・体育では、緑風ソシオ(大学生による授業サポート)を活用し生徒の学習サポートを行っている。</p> <p>○必要に応じて、主治医やスクールカウンセラー等の助言を受けている。</p>		

3	鳥取緑風高等学校	通信制	<p>○ディスレクシア（識字障がい）を有する生徒に対して、授業資料、レポート、考査問題などにすべてルビを振ったものを使用すると共に、個別指導を行っている。</p> <p>○障害者手帳（精神）を持つ生徒に対して、キャリアアドバイザー、県の組織（障害者就業・生活支援センターおよび鳥取県障害者職業センター）などと連携・協力し、キャリア教育や就職試験に向けた面接指導などを行い、就業に繋げた。</p>
4	米子東高等学校	夜間定時制	<p>○漢字を読むことが困難な生徒が在籍したため、配布文書や考査問題などにふりがなをつけた。</p> <p>○統合失調症の診断を受けた生徒に、「障害者就業・生活支援センターしゅーと」に相談することを勧め、その後、「就労移行支援事業所クロスジョブ」でアセスメントを受け、就労継続支援B型事業所への通所を開始した。</p>
5	米子白鳳高等学校	昼間定時制	<p>○入学者に対して中学校からの情報の引き継ぎを依頼。本人・保護者からの承諾を取り、特定の日にまとめて申し送りを受ける。</p> <p>○自閉症、注意欠如多動性障害の診断のある生徒について、「通級による指導」を実施。（2, 3年次生対象に年間2単位）</p> <p>○心理学専攻の大学院生を授業中の学習支援に導入。（「白鳳サポーター」と呼称、週3回1名ずつ来校）</p> <p>○特別支援教育支援員の導入。（1名、週30時間勤務で、授業中の学習支援を担当）</p>
6	米子白鳳高等学校	通信制	<p>○島根大学で心理学を学ぶ大学院生と連携し、スクーリングでの生徒の学びをサポートしている。</p> <p>○支援が必要な生徒に対し、合格発表後、中学校からの情報の引き継ぎ会を持って、指導や支援の充実に努めている。</p>

(4) 経済的に困難を抱える生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制/夜間定時制/通信制)	
1	鳥取緑風高等学校	昼間定時制	<p>○生活困窮家庭に対して、SSWを通して、要保護児童対策地域協議会と連携しながら、生活保護の認定やその他の手続きについて、学校事務職員とともにサポートしている。また、借家から退去を迫られている生徒家庭に対して、SSWを通して、パーソナルサポートセンターと連携しながらサポートしている。</p>
2	鳥取緑風高等学校	夜間定時制	<p>○SSWと事務担当が保護者面談を行い実態等を把握するとともに、生徒が安心して学校生活を送れるように関係機関と連携している。</p> <p>○SSWと事務担当を中心に、就学支援金等の説明を行ったり、学校徴収金の支払い方法や自動車学校通学のための資金調達、住宅確保などをはじめ、経済的課題について保護者にアドバイスしたり、関係機関とつないだりしている。</p> <p>○家庭での食事提供がままならない生徒や孤食の生徒に対して、子ども食堂などを紹介して少しでも元気に登校できるようにサポートしている。</p> <p>○生徒の学校生活への意欲喚起のため、今年度PTAと協力して「緑風応援食堂」を3回開催した。おかわり自由のカレーライスを生徒に提供して、生徒が少しでも学習を頑張ろうと思ってくれるように実施した。</p>

3	米子東高等学校	夜間定時制
○授業料、就学支援金等の手続きが滞る生徒に、SSW と連携し手続きを促した。		
4	米子白鳳高等学校	昼間定時制
○スクールソーシャルワーカーの配置、外部関係機関と本校職員との連携等を担当		

(5) 非行・犯罪歴を有する生徒の学習ニーズ

No	高等学校名	(課程種別：昼間定時制／夜間定時制／通信制)
1	鳥取緑風高等学校	昼間定時制
<p>○SSW を通して児相などの校外機関と連携し、生徒の様々な背景を理解した上で、学習意欲が高まるように保護者や生徒に助言をする等の働きかけを行っている。</p> <p>○1日おきに来校するSCとの面談を必要に応じて行い、学習への意欲を喚起している。</p> <p>○可能な限り出身中学校と情報交換の場を持ち、生活指導も含め生徒への適切な学習指導・進路指導を行っている。</p>		